

自立・自己実現

- ①生活習慣と規則を守る力
- ②仲間とともに高まる力
- ③自ら学び、考え、判断する力

学校だより

茨木市立西中学校

4月 No.1

発行責任 松田勝樹



新入生 入学おめでとう!!

先輩となった2年生。最上級生となった3年生。飛躍と自立の年です!!

全校の生徒のみなさん。おはようございます。先ほど、新入生314名の入学式が行われ、いよいよ全学年がそろい、西中学校の平成25年度が始まりました。

そこで、私は、次のような話をしました。



今、私は新しい制服に身を包んだ新入生の君達を前にして、とてもうれしく思っています。それは、今までこの西中学校を卒業していった先輩達のように、これからの3年間で見違えるように「成長する」、見違えるように「良くなる」、その出発点である、まさにその場に立ち会っているからです。

それでは、ここで、君達一人ひとりが「成長する」、「良くなる」、その秘訣で、一番大切なことを2つ言います。

人間は人間である限り、誰でも「自分は成長するんだ!」「良くなりたいんだ!」という気持ち、そしてそうなる力があります。※「人間、生まれてきたからには伸びずばなるまい!」

一つはそのことに気がつくことです。そして、それを忘れないということです。もう一つは、自分の隣にいる人もみんなそうなんだという事を忘れないということです。

こんな人がいました。職場体験という取り組みで、その人は老人ホームに行きました。その人はベッドに寝ている老人のおしめを換えるという仕事をしました。そうすると、その老人は何も言わずに手を合わせたそうです。彼女は学校にかえってから見違

えるように良くなりました。

実は、彼女は学校での素行も良くなく、悪いことばかりして怒られてばかりしていた人でした。そんな彼女が、老人に手を合わせて感謝され、「自分は、人に感謝されることができんだ」という事を体験しました。そして、そんな自分に気がつきました。

それから彼女は、自分に自信をもち、やけっぱちになり埋もれかけていた「自分は良くなりたい」という気持ちを思いだしたのです。

これから、中学3年間、順風満帆、何もかもうまくいくとはかぎりません。時には、自信をなくしてしまう事もあるかもしれません。でも、そんな時こそ、「自分は良くなりたい」、その気持ちを忘れないでください。

そして、これは明日の新生歓迎会で先輩達が教えてくれますが、西中には自分一人の力だけでなく、生徒会を中心に創っている、みんなでみんなが良くなるための環境や取り組みがたくさんあります。

そんな西中のなかで、一人ひとりが自分の力と仲間の力が重なって「成長すること」「良くなっていくこと」を期待し、そして、その門出を心よりお祝いして、私の話とさせていただきます。

新生のみなさん ご入学おめでとうございます。



私が、始業式でみんなに言いたいことは、その話を踏まえて2つだけです。

その一つは、みんな一人ひとり、自分は、「良くなりたいという気持ち」を持っている、そのことを忘れないでほしい、ごまかさないでほしいということです。そして、その実現のためにほんの少しでもいいから努力してほしいということです。

もう一つは、自分以外のまわりの人、みんなそんな気持ちと力を持っているということ、それを片時も忘れないでほしいということです。そして、その実現のため『J4(授業4ヶ条)』『J3(授業3ヶ条)』『クラスを見る窓』や『クラス・班』を大切にしてほしいということです。



それでは、最後に、もう一度、「誰でも良くなりたいと思っている」。そして、「誰でもその力がある」。そのことが一人ひとりの力とみんなの力があわさって、すばらしいこの1年になることを期待して私の始業式の話とさせていただきます。